

## 中山間地域臨時給油所実証実験事業の報告について

### 1 概要

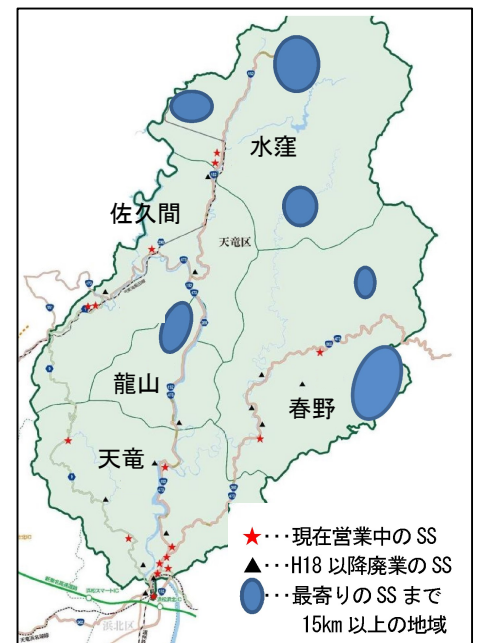
SS（サービスステーション）の減少が著しい中山間地域において、安定的な燃料供給モデルを検討するため、経済産業省資源エネルギー庁の SS 過疎対策検討支援事業を活用し、移動式臨時給油所を設置する実証実験を行った。

### 2 背景

- 天竜区内に平成 18 年度に 30 か所あった SS が、平成 30 年度時点では 16 か所まで減少している。

地域	H18	H28	H30
旧天竜市	15	11	9
旧春野町	6	3	2
旧佐久間町	6	4	3
旧水窪町	2	2	2
旧龍山村	1	0	0
合計	30	20	16

- SS の廃業により、最寄りの SS まで 15 km 以上の地域も発生しており、住民生活に影響を与えている。



### 3 事業内容及び実験結果

タンクローリー直結型計量機「どこでもスタンド」を活用した移動式給油所を設置

- 実施期間 平成 30 年 11 月～平成 31 年 1 月のうち 21 日間、平日 10 時～15 時
- 実施場所 天竜区春野地域、龍山地域（協働センター駐車場、SS 跡地、空地）
- 利用実績

	総数	1 日平均	1 件平均
給油件数（件）	460	22	—
給油量（L）	9,125	434	19.8
売上金額（円）	1,417,798	67,514	3,082

### 4 評価と今後の課題

移動式給油所は、複数地域を巡回して運用することが可能であり、小規模集落が点在する本市の過疎地域において、燃料供給の有効な手段であることが確認できた。今後、採算性確保と常時運用の両立が可能となる環境整備が必要である。